シートピアなあど

News Release

令和３年 11 月 19 日

モノ・ヒト交流拡大により、地域経済の再生と持続可能な地域づくりをめざす

『ふるさとバスケット（ふるさと・BUS・助っ人）プロジェクト』
発信イベント 第１弾：「西和賀・宮古　ふるさとバスケットマルシェ」

人口減少が進み経済活動や地域社会への影響が深刻化する中、新型コロナウイルス感染症が世界的な景気低迷に追い打ちをかけている折、**モノとヒトの交流拡大による地域経済の再生と持続可能な地域づくり**をめざし、**西和賀町**と**宮古市**を結ぶ新たな**公共交通を活用した貨客混載バスによる流通活用**により、**地域と企業が連携**した**「地域振興・観光振興」のビジネスモデル確立**のための**プロジェクト**を**発信**するイベントを開催します。

１　日　時

令和３年 12 月３日(金)、４日(土)、５日(日)　10：00～19：00

※）最終日（12 月５日）は１７：００まで

２　場　所

ＪＲ東日本　盛岡駅二階 北側コンコース（大地館前）

３　主催者

岩手県北自動車株式会社（以下　岩手県北バス）、東日本交通株式会社
株式会社西和賀産業公社、株式会社川井産業振興公社、株式会社宮古地区産業振興公社
岩手県県南広域振興局

４　協力

東日本旅客鉄道株式会社　盛岡支社
JR 東日本東北総合サービス株式会社　盛岡支店

５　内　容

(1)　対面販売(12/3～5)

㈱西和賀産業公社、㈱川井産業振興公社、
㈱宮古地区産業振興公社による、各地 域の
特産品、連携商品、貨客混載物流商品の対面販売。

(2)　観光ＰＲ(12/3～5)

西和賀町、宮古市の PR 動画の放映やポスター掲示、キャラクターによる PR 等

(3)　特　典(12/3～5)

1,000 円以上お買い上げのお客様先着 300 名に、ノベルティグッズプレゼント

【担当】岩手県北自動車株式会社　地域事業推進室　室 長　八重樫　真
電話 080-1660-3487
e-mail：yaegashi@iwate-kenpokubus.co.jp

補足情報

1. 現状・背景

✔西和賀町では、少子高齢化に伴う人口減少伴い、利用者の減少から公共交通機関の路線維持が厳しい。加えて、コロナ禍による交流人口の減少や国道 107 号通行止めの影響等により、特産品販売や観光等地域経済が低迷。

✔宮古市では、東日本第震災以降観光産業の低迷が続く中、コロナ禍による交流人口の減の影響により、特産品販売や観光等地域経済が低迷。

✔岩手県北バスは、平成 27 年、国内初の路線バス（宮古～盛岡間）による「貨客混載」を開始。2015 グッドデザイン賞を受賞。

✔東日本交通㈱は、岩手県北自動車㈱のグループ会社で、現在、西和賀町民バスの運行業務を受託している。

2. 取組のねらい

岩手県北バスが、106 急行バスで確立している“公共交通機関による貨客混載物流”を他路線との接続により、延長拡大することにより、大口配送が困難な地場産品の輸送を担い、「地域特産品の販路の拡大」により地域経済振興の一助とする。併せて、貨客混載による生産性向上を図ることで、「地域の足としての公共交通の維持」とともに、コロナ終息後の交流人口・観光人口の拡大につなげ、地域や企業が連携した“ソーシャルビジネス”、“地域振興・観光振興”のビジネスモデル確立につなげるとともに、地方創生の一助となることをめざします。

(1)貨客混載物流の確立　⇒　新たな販路拡大・物流コスト低減　⇒　**地域経済効果**
(2)連携による商品開発　⇒　顧客の共有・新たな顧客獲得　⇒　**地域経済効果**
(3)各産地の訪問・体験　⇒　ヒトの交流・交流人口増大　⇒　**観光経済効果**
上記の取組みを通じた路線収益の向上、バス利用者の増加　⇒　**公共交通路線維持確保**

3. 今後の取組

12 月以降の毎週金曜日に貨客混載バスを運行し、西和賀町の商品を宮古市「道の駅やまびこ館」「道の駅みやこ」で販売し、宮古市の商品を西和賀町の産直「湯夢プラザ」にて販売します。

上記に加え、下記に取組む予定としております。

(1)物産・交流イベントの開催
　① 物産展：「西和賀・宮古　ふるさとバスケットマルシェ」の開催
　② 飲食・宿泊施設：西和賀、宮古等での連携メニューフェアの開催
　③ 各地のイベント出展・参加：宮古鮭まつり・宮古毛ガニ祭り
(2)西和賀・宮古連携商品開発：西わらび粉ブレンドきな粉パン
(3)産地訪問・体験ツアー：～山幸・海幸～美食の旅 in 雪中レストラン
(4)県内・県外イベント：西和賀町、宮古市主催の県内外イベントでの PR